



社協だより

第12回

ふれあいフェスティバル

開催日時 2018年10月13日(土曜日)
9:00(開場)/9:30(開演)

開催場所 築上町文化会館「コマーレ」



ハンディキャップがあっても普通に暮らしている、そんな人々を主役に、バンド演奏・演劇・ダンスなどのステージ発表と施設などで作った作品の展示・販売を行います。
応援、観覧にお誘いあわせのうえ、ぜひご来場ください。



【主催】ふれあいフェスティバル実行委員会・築上町社会福祉協議会

【後援】築上町

この機関紙は、赤い羽根共同募金の配分金の一部で作成しました。



ステージプログラム 10月13日(土) 開催

時間	内容	出演者名
9:30~ 開会 セレモニー	開会のあいさつ	ふれあいフェスティバル副実行委員長
	実行委員長あいさつ	ふれあいフェスティバル実行委員長 中村 信雄
	来賓あいさつ	1. 築上町長 新川 久三 様 2. 福岡県議 西元 健 様 3. 築上町議長 田村 兼光 様 4. 福岡県社会福祉協議会 会長 小川 弘毅 様
10:00~ 午前の部	合奏「こぶためきねこ」、手話歌「たのしいね」「世界中の子どもたちが」	山びこ保育園
	手話コーラス「やさしさに包まれたなら」「築上の風」	築城手話の会
	紙芝居「かにおかし」	朗読ボランティア「うぐいす会」
	紙芝居「ずっとともだちでいたいから」	朗読ボランティア「しらうめ」
	寸劇	大川病院 大川劇団
	手話コーラス	ワークランドこすもす
	ソーラン節	第二ワークランドこすもす
チアダンス	キッズチアダンス ハピネス	
12:10~	— 昼食休憩 — (築上町フロモーションビデオ上映)	
13:00~ 午後の部	踊り「日向ひよっこ踊り」「金目の大将」	椎田ひよっこ愛好会
	手話コーラス「虹」 独唱「フニクリ・フニクラ」「花は咲く」	ライムライム
	車いすダンス	車いすダンススポーツ連盟
	吹奏楽ステージ	築上西高等学校 吹奏楽部
15:15 (終了予定)	バンド	定行 烈志バンド
	閉会のあいさつ	ふれあいフェスティバル副実行委員長

※出演順は変更になることがありますのでご了承ください。

食事 コーナー

販売開始
10:30~

(駐車場特設テント)

パン	100円
コーヒー	100円
かき氷	100円
豚汁	100円
お茶・ジュース	100円
うどん	200円
焼きそば	200円
カレー	200円
かしわ飯	200円

展示コーナー

展示

- 和光苑陶芸クラス(短歌、陶芸、絵手紙)
- 築城特別支援学校(学校紹介、生徒作成の作品展示)
- 築上町身体障害者福祉会(盆栽、活動紹介)
- ワークランド・こすもす(施設紹介)
- 手をつなぐ親の会(作品展示、微生物活性酵素の紹介)
- 地域包括支援センター
(「オレンジカフェきづき」利用者の作品展示、認知症啓発コーナー)

販売

- ワークランド・こすもす(ストラップ、キーホルダー)
- 母子寡婦福祉会(フリーマーケット)
- 地域包括支援センター(手芸品)
- きのこセンター翼(しいたけ、なめこ、ひらたけなど)

10月1日から、「赤い羽根共同募金運動」が全国一斉に始まります。



赤い羽根共同募金

築上町においても、住民の皆さまのご協力のもと募金運動を行い、寄せられた募金の配分金をもとに、様々な地域福祉活動を展開しています。また、歳末たすけあい募金も行っています。

今年度も皆さまの温かいご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。

● 地域で集めた募金は、集めた地域で使われています

築上町で集められた募金の約80%は、町内の福祉活動に使われ、残りの約20%は、より広域的に福岡県の福祉課題を解決するために使われています。



幼稚園、保育園児プレゼント配布



男性料理教室



● 災害にも赤い羽根共同募金は使われています

募金額の一部は毎年「災害等準備金」として積み立てられており、災害発生時には、災害被災地で速やかに支援活動が行えるようボランティアセンターの開設・運営のための資金として、また被災した福祉施設の復旧支援に使われます。

いろいろな募金方法

○戸別募金

みなさんが住む地域・自治会を通じて各世帯にご協力いただいている募金です。

○法人募金

法人・企業にご協力いただいている募金です。



○学校募金

学校の児童・生徒からご協力いただいている募金です。



○街頭募金

店頭や人の集まる場所でご協力いただいている募金です。



○イベント募金

イベント会場でご協力いただいている募金です。



○その他の募金

募金期間中に公共施設等に募金箱を設置していただきご協力いただいている募金などです。

広報部会 より

猛暑!猛暑!猛暑!と言葉にも表せないほどの暑さに、身の置き所もない有様の日々でした。

今回は、子どもに関する社協で夏の行事として行われている学童保育、児童館の子どもフェスティバル納涼祭、昨年の5月から始まった子ども食堂の一コマをお知らせしたいと思います。

この暑さの中、学童保育の子どもたちが元気に教室に通って来ます。「おはよう」と声掛けすれば「おはようございます。」と応えてくれ嬉しくなります。勉強や遊びなど学校とは一味違う生活を1年生から3年生までの共同生活を夏休みだけでも体験できたことは成長の過程の思い出として心に残ることでしょう。

学童の昼食・おやつ作りをして下さるのはボランティアの方々が、午前8時30分~午後3時(後片付け)までしました。



夏期学童保育



子どもフェスティバル納涼祭

次に児童館の子どもフェスティバル納涼祭では、色々な夜店がでて賑わい、舞台では椎田中学校のプラスバンド、保育園児の演奏と合唱、子育て支援の幼児のおどり、わたしの目についたのは、2歳位の浴衣を着た男の子と女の子でした。音楽に合わせて一生懸命に体を動かし……「あらあーら 何処向いているの?こっちこっちよ。」と思わず声をかけたくなるような場面もありました。どの子ども上手にリズムにノリノリで見ている人たちの笑いを誘っていました。また、恒例の花火、大きな花火大会の打上花火よりミニサイズですが楽しいものでした。それとラムネ飲み競争では、飲んでいる人よりも側から見ている人の表情がユニークでした。

昨年5月から始まった子ども食堂について、初めて行って見ました。調理をする方は午後4時から食事の準備をし、午後5時30分から食事の時間となります。

まず、受付で食券を購入し食堂に入ってテーブルに着き、おしゃべりをしながら食事の出来上がるのを待っています。食事が出来上がると食券を持って、調理室前で券と引き換えて自分のテーブルに持って行くセルフサービス方式です。

独居の高齢者にとっては子どもたちとの交流ができ、元気になれるのではないかと一人思いました。

色々な福祉に関する疑問や質問がございましたら気軽にご相談下さい。

広報部会 畦津 多恵子



子ども食堂

寄付金のお礼

築上町社会福祉協議会に次の方々よりご寄付をいただきました。ご芳情に対して厚く御礼申し上げます。
この浄財は、社会福祉事業を推進するために、大切に使用させていただきます。
なお、社会福祉協議会へご寄付された場合は、所得税の控除対象となります。
(平成30年6月21日～平成30年9月19日受付分まで掲載)

香典返し

◆椎田地区

(湊南) 白藤 川田 修一様 (亡母キヨ子様)
(湊北) 寺多 順恵様 (亡父嘉政様)
(椎田東) 野頭 勇一様 (亡前住職村上桃世様)
(椎田中) 吉野 勇一様 (亡義母須山スミ子様)
(椎田南) 奥村 静真様 (亡夫範敬様)
(西八田) 加藤 静真様 (亡妻イト子様)
(水原) 大木 静真様 (亡妻イト子様)
(越路) 榎本 静真様 (亡妻イト子様)
(坂本) 榎本 静真様 (亡妻イト子様)
(上松) 榎本 静真様 (亡妻イト子様)

◆築城地区

(寒田) 上鋤 三夏様 (亡母繁子様)
(榎原) 中畑 千夏様 (亡夫秋夫様)
(上本庄) 稲嶋 一市様 (亡母公教様)
(下本庄) 大石 久子様 (亡夫久子様)
(伝法寺) 松川 修二様 (亡夫修二様)
(上深野) 竹本 保久様 (亡夫保久様)
(安武第二) 永本 正憲様 (亡夫正憲様)
(上山田) 山尾 節子様 (亡父節子様)
(下山田) 山口 節子様 (亡父節子様)
(上築城) 野村 典之様 (亡父典之様)
(上別府) 川添 美穂様 (亡妻美穂様)
(下別府) 福部 恭子様 (亡母恭子様)

◆町外

(行橋市) 進田 泰治様 (亡父健次郎様)
(北九州市) 西田 秀俊様 (亡父萬里様)

一般寄付

岩武 孝泰様
社会福祉法人 浄興寺灯明会様

ちくじょう子ども食堂へ食材等のご寄付をいただきました

平成30年6月21日～9月19日受付分まで掲載

- ・岩丸 美代子 様 ・城田 とみ子 様 ・川端 洋子 様 ・白川 紀子 様 ・薬丸 明子 様 ・喜代原 紘一郎 様
- ・ワークランドこすもす 様 ・堤農園 様 ・安部味噌製造所 様 ・アサヒ飲料株式会社 様 ・からあげ鳳翔 様
- ・築上町職員労働組合 様 ・匿名希望 4 名 様

アサヒ飲料株式会社様より「子ども食堂」に対するご寄付をいただきました

平成30年7月31日(火)、アサヒ飲料株式会社九州支社(福岡市)において、こども食堂定着応援助成の贈呈式が行われました。

アサヒ飲料株式会社は毎年、全社員参加による全社運動を実施しており、社会貢献の一環として運動期間中の売上の一部を、同社が設置する「こどもたちの明るい未来づくり募金」の寄付金として、また、同社の製品「三ツ矢サイダー」と「カルピスウォーター」を共同募金会を通じてご寄付いただきました。感謝申し上げます。



ちょっと早いクリスマス

笑顔でふれあいワークショップ参加者募集

障がいのあるなしに関わらず、たくさんの人と出合えるイベントです。

日時 平成30年12月8日(土) 10:30～13:30 (受付10:00～)

会場 築上町築城保健センター「チアフルつき」

参加費 1人 500円

定員 80名 (定員になり次第、締め切ります)

主催 笑顔でふれあいワークショップ実行委員会

申込先 築上町社会福祉協議会 電話：56-2223 FAX：56-2244

申込締切 11月22日(木)まで電話もしくはFAXにてお申込みください。



ハンディキャップのある人やない人がお互いを知り合うための集まりです。ケーキ作りやビンゴゲームなどで、みんな一緒に楽しみましょう。いろいろな人と出会いたい方、皆さまの参加お待ちしております。

平成30年7月豪雨に伴う災害ボランティアセンター 運営支援のための職員派遣（広島県安芸郡坂町での活動報告）

去る7月6日に西日本で記録的な豪雨が続き、各地に被害をもたらしました。そこで職員派遣として8月29日（水）～9月3日（月）の6日間、広島県坂町災害たすけあいセンター（以下、センター）に運営支援として行きました。

広島県坂町は人口約13,200名で自治会は17地区あり、住民同士の繋がりがとても強い地域性のある町です。今回の豪雨災害で13地区に被害が起き、自治会長とボランティアセンターと連携を図り、被災された地域にボランティアを送り出すという方法でセンター運営を行っていました。



私のセンターでの活動内容は、最も被害を受けた『小屋浦地区』の4丁目という自治会内での活動でした。小屋浦4丁目は昭和20年に土砂崩れの災害が起き、対策として小屋浦地区の上方の山に『砂防ダム』が建設されましたが、年月の雨風により、土砂が蓄積され、今回の豪雨で土砂崩れを起こし、家屋を流し、多くの犠牲者を出しました。犠牲となった方が多くいたことから災害復旧活動が進まなかった中、重機械による復旧活動をしていた外部団体と連携を図り、現地のニーズ調査（被災者状況の聞き取り）を行いました。

4丁目の世帯は167戸で、区域が3班に分かれているので3名の自治会長と情報共有し、毎日一軒一軒声かけ訪問しました。自治会長が「避難してからここに人がいなくなり、電気が消え、家がなくなり、地域がなくなる。自治会が続けられるのかわからない」と話された言葉が胸に刺さりました。



災害が起きない場所はありません。まずは自分・家族の命を守ることが第一ですが、衣食住の確保、近所の人たちの安否確認も大切です。防災について夫婦、家族、親子、近所、地域で話す機会をつくっていただきたいと思います。

築上町社会福祉協議会 及川 泉

社協だよりは毎年5回の発行で、ほぼ四季に準じた発刊となっています。今回は秋号となります。それにしても近年の夏は厳しいものがありますね。集中豪雨と猛暑が異常ではなく正常範囲として覚悟せねばならなくなってきました。毎年最高気温の上昇がみられるのでしょうか？今年も41.1℃の記録更新がありました。体温以上はおろか、私にはあつ湯の温度です。集中豪雨も高気温も、これを無難に切り抜けるためには、自分自身の置かれた環境や体調を心得て、空振りをしてとわれない早め早めの対応が大切と知らされています。

さて、築上町社協は本誌発行以外にホームページも開設しています。これらにも見られるように、職員や関係のみなさんは、福祉の事業に大変頑張って居られます。ご意見などいただければ有難いです。よろしくお願います。

編集後記

広報部会
井上 孝之助

